

# 乾隆学区 防災まちづくり

世代を超えて 地域がつながり  
安心・安全に ずっと暮らせる 乾隆のまち



乾隆学区自主防災会

## 目次

乾隆学区の概要	3
乾隆学区の被害想定	4
防災まちづくりに関するこれまでの活動	4
防災マップ	6
防災まちづくりの目標と方針	8
具体的な取組アイデア	10
取組の役割分担	18
活動体制	20
防災まちづくりのめざす進め方	21
防災まちづくり情報	22
災害時行動シート	23

### はじめに

乾隆学区では、みなさんの命と財産を守るために、災害が起こる前から地域が主体となって災害に強いまちをつくる「防災まちづくり」に取り組んでいます。これまでに、まちあるきやアンケート調査等を実施し、みなさんのご意見を確認しながら、防災上のまちの課題を明らかにし、災害時に必要な取組等について検討してきました。

このたび、これまでの取組や検討内容を踏まえ、「災害が起こった後の対応への備え」だけでなく、「災害が起こる前の対策や整備」を実現するための行動指針として、『防災まちづくり計画』を作成しました。

この計画をもとに、より一層「防災まちづくり」の取組を積み重ね、安心安全にずっと暮らせる乾隆のまちを実現しましょう！

乾隆学区自主防災会 会長 渡邊 豊

## 乾隆学区の概要

乾隆学区は、西陣織を生業とした町衆を中心に形成された地域で、西陣織の分業工程との関係から、住民同士の助け合い精神が育まれてきました。

明治2年（1869年）の上京第一番組小学校（現在の乾隆小学校）の創立にあたっては、将来を担う子どもたちの活躍を期待して、当時の地元住民が自ら資金を出し合い、校舎を建てました。

こうした助け合いの精神や地域自治の取組は大切に受け継がれ、現在も、乾隆小学校を中心として、さまざまな地域行事や活動が展開され、多様な団体が活動を行っています。

町内会や地域の行事、住民が集まる機会も多く、コミュニケーションの輪が広まり、地域みんなの顔が見えるので、安心・安全につながっています。

学区内26の町内会では、乾隆学区の合言葉「だいすき乾隆」のもとに、今宮祭、乾隆まつり、餅つき大会、地藏盆等の行事に取り組んでいます。



▲かつての乾隆小学校（大正期）



▲今宮祭



▲乾隆まつり



▲防災の拠点 乾隆会館



▲地藏盆

## 乾隆学区の被害想定

乾隆学区は、寺社や町家等、京都らしい風情や歴史を感じる建物が残る一方で、木造の建物が多く、一部では行き止まり道等も見られ、大規模な地震や火災が起きた際には、建物の倒壊による避難や救助の遅れ、広範囲への燃え広がり等、大きな被害を受ける恐れがあります。

上京区に最も大きな被害をもたらすと想定される「花折断層地震」が起こった場合、乾隆学区では、震度6強の揺れが予想されています。

### ◆京都市地震ハザードマップ（乾隆学区）



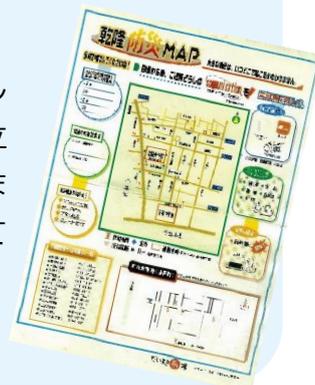
〈出典〉京都市防災ポータルサイト 令和6月3月現在

## 防災まちづくりに関するこれまでの活動

乾隆学区では、今般の防災まちづくり計画の策定以前から、各種団体と協力しながら、継続的に災害に強いまちを目指して活動してきました。

### 防災マップづくり

平成18年11月に、乾隆学区自主防災会、乾隆消防分団を主体として各種団体本部役員有志により「乾隆防災マップ作成委員会」を立ち上げ、「乾隆防災MAP」を作成し、平成20年6月に全戸へ配布しました。防災マップは地震等の災害時に役立つよう、普段から備えておくものや緊急連絡先、各町内の消火器の位置等の情報を掲載し、災害に強い乾隆学区を目指すことを目的として取りまとめました。



## 住宅用火災警報器の共同購入

平成 19 年以降、学区のみなさんにお声がけして、住宅用火災警報器の共同購入を 5 回実施しています。

## 防災まちあるき

令和 3～4 年度には、まちの防災に関する現状と課題を確認するため、学区のみなさんで『防災まちあるき』と意見交換を行いました。全 4 回のまちあるきを実施し、延べ 60 名の方にご参加いただきました。



## 防災まちづくりアンケート調査

令和 4 年度には、防災まちづくりに関する町内会アンケートを実施しました。防災に関する問題意識を確認し、まちの防災上の課題をより深掘りすることができました。

## イベントでの周知活動

乾隆まつりでは、防災まちづくりに関する展示により取組を周知し、子どもたちが防災について学ぶことができるゲーム等を企画しています。



## 防災訓練

毎年 11 月に総合防災訓練を開催しています。コロナ禍も規模を縮小して実施しました。消火訓練や救護訓練のほか、最近では、新たな取組としてマンホールトイレ設置訓練や防災まちづくりクイズにも取り組んでいます。



# 防災マップ



※災害時協力井戸 出典：京都市ハザードマップ Web 版（令和 6 年 3 月掲載情報）



※この地図は、京都市発行の都市計画基本図（縮尺 1/2,500）を参考にし、作成したものです

## 乾隆学区防災まちづくりの目標

世代を超えて 地域がつながり 安心・

### 方針1

自分のいのちや家を守る  
ために備えよう

- 一人ひとりが防災意識を高める
- できることから始める
- 初期消火に備える
- 自宅等の安全性を高める

詳しくは、p.10-11をご覧ください

### 方針2

安全に避難できる環境を  
整えよう

- 避難行動を確認する
- 避難経路を整える
- 避難所の防災機能を高める

詳しくは、p.12-13をご覧ください

## 安全に ずっと暮らせる 乾隆のまち

### 方針3

みんなの暮らしといのちを守るために助け合おう

- 隣近所、町内会のつながりをはぐくむ
- 要配慮者の避難を支援する仕組みをつくる
- 事業所、寺社、宿泊施設等と連携する
- 防災体制を整える

詳しくは、p.14-15をご覧ください

### 方針4

災害にも強く、ずっと暮らせるまちをつくろう

- オープンスペース等を確保する
- 防災設備を設置する
- 空き家を見守る

詳しくは、p.16-17をご覧ください

## 具体的な取組アイデア

安心・安全なまちの実現に向けて、できること・取り組みたいことを整理しました。各取組はアンケートやまちあるきでいただいた意見をもとに作成しています。取組を進め、その他のアイデアについても検討していきます。

〈凡例〉 **学** 学区でできること **町** 町内会でできること **家** 家庭・個人でできること

### 【方針1】自分の家やいのちを守るために備えよう

①一人ひとりが防災意識を高めて、いざというときに正しい判断・行動ができるよう、日頃から防災活動への参加や話し合いを心がけましょう。

- ◆家族と防災について話し合う…………… **家**  
(マイ・タイムラインの作成、集合場所の確認等)  
➔ p.22の「マイ・タイムラインの作成」をご参照ください。
- ◆防災まちづくり情報の発信…………… **学**
- ◆防災まちづくり行事や勉強会の開催、参加…………… **学** **町** **家**

②日頃から、防災・減災の備えや対策を、できることから始めよう。

- ◆防災グッズの準備を後押し(グッズの紹介、共同購入等)…………… **学**
- ◆防災グッズ(ヘルメット、懐中電灯、はしご、消火器・消火スプレー、ろうそく、電池等)の準備、点検…………… **学** **家**
- ◆おうちの安全点検①…………… **家**  
(延長コードやコンセント、住宅用火災警報器の点検等)
- ◆おうちの安全点検②…………… **家**  
(家具転倒防止器具の設置等)

③初期消火が、大規模な火災の発生を防ぎます。適切な消火活動が行えるよう、日頃から準備をしましょう。

◆消火器・消火バケツの点検、更新……………学 町

◆消火器の使い方講習の実施、参加……………学 家

◆消火スプレー等家庭に合ったグッズの設置……………家

④災害時も、安全に自宅で避難できるよう、自宅等の耐震性や防火性を把握し、必要に応じて対策を行いましょう。

◆耐震診断、耐震相談会の実施……………学

◆耐震・防火改修の実施……………家



### 地震時は、電気による火災に注意しましょう！

阪神・淡路大震災で発生した火災の半数以上が、電気関係による火災と言われており、その出火原因のひとつに、停電復旧後に出火する「通電火災」があります。通電火災の防止には、避難時にブレーカーを遮断する、停電中に電気機器の電源プラグをコンセントから抜く、感震ブレーカー<sup>※</sup>を設置する等の対策が効果的です。

※設定値以上の地震の揺れをセンサーが感知し、ブレーカーやコンセント等の電気を自動的に止める器具

## 【方針2】安全に避難できる環境を整えよう

①いざという時に、慌てずに落ち着いて行動できるよう、避難時の行動を事前に確認・共有しておきましょう。

- ◆ご近所で事前に避難時の行動を確認…………… **町** **家**  
(災害時の役割分担、地域の集合場所を実施することの確認等)
- ◆災害時チェックシートの作成…………… **学** **町**

②自宅等から指定避難所まで、安全に避難できるよう、「地域の集合場所」や避難経路等を確認しておきましょう。

- ◆地域の集合場所の周知、表示板の設置…………… **学** **町**
- ◆ご近所で避難経路の点検…………… **学** **町**  
(植木や路上駐車等の避難の支障となるものの整理、協力依頼等)
- ◆避難経路の安全管理…………… **町** **家**  
(避難扉の設置、ブロック塀・老朽家屋の除却、トンネル路地の改修等)
- ◆道路の損傷箇所等を管理者と情報共有…………… **学** **町** **家**  
→ p.22の「みっけ隊アプリ」をご参照ください。



### 地域の集合場所

大地震が発生した場合に集合する場所を町内ごとに決めています。地域で互いに協力し合い、安否確認、救護活動、消火活動など必要な対応を行います。

**地域の集合場所** ○ ○ **町**

災害時はみんなで行動しよう！

- ① 安否を確認
- ② 初期消火や救助活動
- ③ 乾隆小学校に避難

乾隆学区自主防災会 だいまさ

令和6年度内に町内会にプレートを配布予定です。

③避難所生活でも、心身の健康が守られ、安心して過ごせるよう、避難所の機能を高めます。

◆防災備蓄品の管理 ..... 学

◆マンホールトイレの設置..... 学

◆安心して過ごせる避難所運営のシミュレーションの実施..... 学



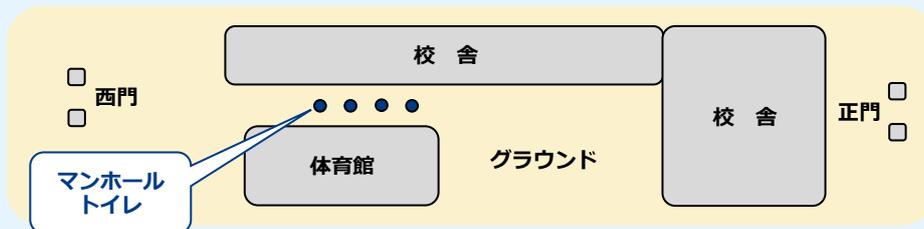
### 乾隆小学校にマンホールトイレを設置しています！

災害時に避難所となる乾隆小学校に、マンホールトイレを設置しています。このマンホールトイレは、マンホールを開けて、便座を設置すると、水洗トイレとして使用できます。貯めた雨水を利用するため断水時にも利用できるものです。

便座や水洗ポンプは、避難してきたみなさんで設置する必要がありますので、防災訓練と一緒に練習しておきましょう。



◆マンホールトイレの位置



## 【方針3】 みんなの暮らしといのちを守るために助け合おう

①一番に助け合えるのは、身近な隣近所や町内会の方々です。日頃から、挨拶や声かけ、行事の参加等により、つながりをはぐくみましょう。

- ◆日頃のコミュニケーション、あいさつ ..... 家
- ◆学区や地域の行事の開催（乾隆まつりや地藏盆等の開催） ..... 学 町 家  
若い人が参加しやすい行事等の企画、参加
- ◆防災まちづくりの周知 ..... 学
- ◆火の用心の見回りや防災訓練の実施、参加 ..... 町 家
- ◆マンション、事務所等の町内会加入の促進、加入 ..... 町 家

②地域みんなが助かるために、ひとりでは避難が困難な方を支援する仕組みをつくりましょう。

- ◆避難を補助する仕組みづくり ..... 学  
（車いすの配備・周知、簡易担架等の作り方の共有等）
- ◆安否を確認する仕組みづくり（安心の黄色いハンカチの整備等） ..... 学
- ◆社会福祉協議会や地域包括センター等との連携 ..... 学

③日頃から、事業所、寺社、宿泊施設等とも情報共有や連携を図る等して、防災に取り組める連携体制をつくりましょう。

◆事業所、寺社等との連携……………学 町  
(防災倉庫の設置、二次避難所等の協力の依頼)

◆町内会未加入者等との連携……………学 町  
(防災まちづくり等への参加の案内)

④災害時は、自主防災会を中心として、学区内のさまざまな団体や町内会が連携して、学区全体が対応します。日頃から各団体と連携し、防災体制を整えます。

◆自主防災会新規役員の募集……………学

◆各種団体との情報共有、行事の共同開催、参加……………学 家

◆円滑な情報共有や体制移行による防災委員の引継ぎ……………町



### KéFUさんと防災協定を 締結しています！

『KéFU stay&lounge』と乾隆自治連合会と上京区役所との間で、「防災拠点としての協力に関する協定」を締結しています。これにより、大規模地震等の災害発生時は、避難者の受入れ等、地域の防災拠点として施設の一部が提供されます。



## 【方針4】災害に強く、ずっと暮らせるまちをつくろう

①延焼防止等の観点から、地域に点在して一時避難所やオープンスペースを確保することが大切です。広場等、新たなオープンスペースの確保に向けて取り組みます。

- ◆防災ひろば等オープンスペースの整備 ..... 学
- ◆災害時の空地（駐車場等）活用の声かけ ..... 学 町
- ◆建替え時にオープンスペース確保等の協力要請 ..... 学 町

②身近なところに防災グッズを備えた防災倉庫があると迅速な救助や避難に役立ちます。

- ◆防災倉庫の位置の周知、点検 ..... 学 町
- ◆新たな防災倉庫やAEDの設置 ..... 学 町



### 学区内の貴重なオープンスペース 「桑の木ひろば」！

交番跡地に整備された「桑の木ひろば」は、ちょっとした休憩スペースに加えて、ベンチ型の防災倉庫が設置されています。また、このようなオープンスペースは、災害時の一時避難や延焼防止に役立ちます。

防災倉庫の場所は  
p.7をご覧ください！



③適切に管理されていない空き家は、防災上だけでなく、日常の安全や防犯においても課題となります。できるだけ空き家が解消されるよう、京都市とも連携して対応しましょう。

◆空き家所有者に対して地域から働きかけ…………… 学 町 家

◆空き家相談会の開催…………… 学

◆空き家情報を市と共有する体制づくり…………… 学



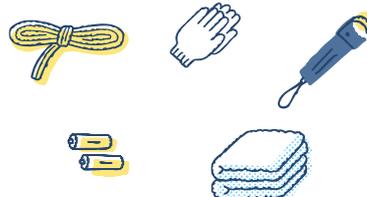
### 防災倉庫に何が入っているか知っていますか？

防災倉庫の中には、救助や避難活動に役立つ備品が保管されています。自主防災会では、いざという時に備え、学区内の防災倉庫や設備の設置を推進しています。

ぜひ、各町内会で、防災倉庫や設備の設置について、ご検討ください。

#### 【防災倉庫に格納されている主なもの】

バール	ハンマー
ショベル	のこぎり
金切はさみ	ロープ
軍手	毛布
ブルーシート	乾電池
強カライト	工具類



## 取組の役割分担

### 学区でできること

#### 方針1

自分の家やいのちを守るために備えよう

- 防災まちづくり情報の発信
- 防災まちづくり行事や勉強会の開催
- 防災グッズの準備を後押し（グッズの紹介、共同購入等）
- 防災グッズ（ヘルメット、懐中電灯、はしご、消火器・消火スプレー、ろうそく、電池等）の準備、点検
- 消火器・消火バケツの点検、更新
- 消火器の使い方講習の実施
- 耐震診断、耐震相談会の実施

#### 方針2

安全に避難できる環境を整えよう

- 災害時チェックシートの作成
- 地域の集合場所の周知、表示板の設置
- ご近所で避難経路の点検
- 道路の損傷箇所等を管理者と情報共有
- 防災備蓄品の管理
- マンホールトイレの設置
- 安心して過ごせる避難所運営のシミュレーションの実施

#### 方針3

みんなの暮らしといのちを守るために助け合おう

- 学区や地域の行事の開催（乾隆まつりや地蔵盆等の開催）、若い人が参加しやすい行事等の企画
- 防災まちづくりの周知
- 避難を補助する仕組みづくり（車いすの配備・周知、簡易担架等のつくり方の共有等）
- 安否を確認する仕組みづくり（安心の黄色いハンカチの整備等）
- 社会福祉協議会や地域包括センター等との連携
- 事業所、寺社等との連携（防災倉庫設置、二次避難所等の協力の依頼）
- 町内会未加入者等との連携（防災まちづくり等への参加の案内）
- 自主防災会新規役員の募集
- 各種団体との情報共有、行事の共同開催

#### 方針4

災害にも強く、ずっと暮らせるまちをつくらう

- 防災ひろば等オープンスペースの整備
- 災害時の空地（駐車場等）活用の声かけ
- 建替え時にオープンスペース確保等の協力要請
- 防災倉庫の位置の周知、点検
- 新たな防災倉庫やAEDの設置
- 空き家所有者に対して地域から働きかけ
- 空き家相談会の開催
- 空き家情報を市と共有する体制づくり

## 町内会でできること

- 防災まちづくり行事や勉強会の開催、参加
- 消火器・消火バケツの点検、更新

- ご近所で事前に避難時の行動を確認
- 災害時チェックシートの作成
- 地域の集合場所の周知、表示板の設置
- ご近所で避難経路の点検
- 避難経路の安全管理
- 道路の損傷箇所等を管理者と情報共有

- 学区や地域の行事の開催（乾隆まつりや地藏盆等の開催）、若い人が参加しやすい行事等の企画
- 火の用心の見回りや防災訓練の実施
- マンション、事業所等の町内会加入の促進
- 事業所、寺社等との連携（防災倉庫設置、二次避難所等の協力の依頼）
- 町内会未加入者等との連携（防災まちづくり等への参加の案内）
- 円滑な情報共有や体制移行による防災委員の引継ぎ

- 災害時の空地（駐車場等）活用の声かけ
- 建替え時にオープンスペース確保等の協力要請
- 防災倉庫の位置の周知、点検
- 新たな防災倉庫やA E Dの設置
- 空き家所有者に対して地域から働きかけ

## 家庭・個人でできること

- 家族と防災について話し合う（マイ・タイムラインの作成、集合場所の確認等）
- 防災まちづくり行事や勉強会の参加
- 防災グッズ（ヘルメット、懐中電灯、はしご、消火器・消火スプレー、ろうそく、電池等）の準備、点検
- おうちの安全点検①（延長コードやコンセント、住宅用火災警報器の点検）
- おうちの安全点検②（家具転倒防止器具の設置等）
- 消火器の使い方講習の参加
- 消火スプレー等家庭に合ったグッズの設置
- 耐震・防火改修の実施

- ご近所で事前に避難時の行動を確認
- 避難経路の安全管理
- 道路の損傷箇所等を管理者と情報共有

- 日頃のコミュニケーション、あいさつ
- 学区や地域の行事（乾隆まつりや地藏盆等）等の参加
- 火の用心の見回りや防災訓練の参加
- マンション、事業所等の町内会加入
- 各種団体との情報共有、行事の参加

- 空き家所有者に対して地域から働きかけ

## 活動体制

学区、町内会、家庭・個人の役割を明らかにし、それぞれの主体が連携・協力し、防災まちづくりに取り組みます。

### ◆乾隆学区防災まちづくり活動体制イメージ図





## 防災まちづくり情報

### 防災まちづくりに関する相談窓口

#### 密集市街地や細街路の安全性を高める

- 防災まちづくりに関する具体的な対策や整備に関する支援制度
- 密集市街地や細街路に関する相談窓口  
京都市都市計画局まち再生・創造推進室  
密集市街地・細街路対策担当 ☎075-222-3503



▲相談フォーム



▲支援制度

### 建物に関する相談窓口（住宅・空き家・京町家）

#### すまいの相談

- すまいに関する一般的な相談  
京安心すまいセンター ☎075-744-1635

#### 建物の安心・安全

- 木造住宅、京町家の耐震診断士派遣  
京安心すまいセンター 耐震・省エネ担当  
☎075-744-1631

#### 安すまパートナー選定支援

- すまい探しやリフォームに詳しい事業者探し  
京安心すまいセンター ☎075-744-1670

#### 空き家対策

- ご近所の空き家でお困りの場合  
上京区役所地域力推進室 ☎075-441-5040
- 空き家の活用等についての相談  
空き家相談窓口（京都市都市計画局住宅政策課内）  
☎075-231-2323

#### 京町家の保全・継承

- 改修、活用、相続に関する様々な相談  
京都市景観・まちづくりセンター  
☎075-354-8701

### 道路や公園等の損傷の連絡窓口

#### 「みっけ隊」 ～美しい京のまちを守る応援隊～

- 京都市が管理する公園や道路等のこわれたところを「写真」と「位置情報」で投稿するアプリ
- スマートフォンのアプリをダウンロードし、「みっけ隊」にユーザー情報登録
- 道路や公園のこわれたところを写真に撮り、地図で場所を設定して投稿

京都市建設局土木管理課 ☎075-222-3568

通行の支障や危険な箇所を見つけたらお知らせください。



▲ダウンロード

### マイ・タイムライン（防災行動計画）の作成

#### 家族と防災について話し合い、もしもの災害に備える

- 災害時に備えて、自分自身がとるべき行動をあらかじめ決めたもの
- ハザードマップで想定される被害を確認し、家族や地域で相談しそれぞれのマイ・タイムラインを作成

上京区役所地域力推進室（総務・防災担当）

☎075-441-5029



▲作成サイト

# 災害時行動シート

## 地震など災害が発生したときの行動

### 1 自分や家族、家を守ろう！

- ・ガス栓を閉めて、電気ブレーカーを切る
- ・もしも火災が発生したら、初期消火を行う

### 2 地域の集合場所に集まろう！

地域の集合場所は・・・

地域の集合場所では・・・

- ① 町内住民の所在・安否確認
- ② 被災者の救出・救助
- ③ 初期消火
- ④ 指定避難所への避難の確認

### 3 乾隆小学校（指定避難所）に避難しよう！

## もしもの連絡先

火災・救急など	局番なし 119
救急の電話相談窓口	#7119
事件・事故など	局番なし 110
災害用伝言ダイヤル	局番なし 171
上下水道局/お客さま窓口サービスコーナー	075-672-7770 (全日：午前8時30分～午後9時)
/緊急ダイヤル	0800-222-3500 (夜間：午後9時～翌午前8時30分)
関西電力 停電問い合わせ	0800-777-3081 (午前9時から午後5時(土日祝・年末年始を除く)) ※停電など緊急のご用件については時間外も受付
大阪ガス ガス漏れ通報	0120-8-19424 (24時間受付)

## 災害用伝言ダイヤルの使い方

伝言の録音 → 1 7 1 → 1 → 市外局番からの電話番号

伝言の再生 → 1 7 1 → 2 → 市外局番からの電話番号

